

JIS

焼結金属材料一仕様

JIS Z 2550 : 2016

(JPMA/JSA)

平成 28 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	栗飯原 周二	東京大学
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (デンカ株式会社)
	榎 本 正 敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会 (三菱自動車工業株式会社)
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	山 崎 裕 一	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社銭高組)
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 58.11.1 改正：平成 28.9.20

官 報 公 示：平成 28.9.20

原 案 作 成 者：日本粉末冶金工業会

(〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-2-16 玉川ビル TEL 03-3862-6646)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 分類及び記号	2
5 品質	2
5.1 化学成分	2
5.2 機械的特性	2
5.3 物理的特性	2
6 試料採取方法及び試験片の作製方法	2
6.1 試料採取方法	2
6.2 試験片の作製方法	2
7 試験	3
7.1 分析試験	3
7.2 開放気孔率及び含油率試験	3
7.3 圧環強さ試験	3
7.4 引張試験	3
7.5 密度試験	6
7.6 衝撃試験	6
7.7 硬さ試験	6
附属書 A (規定) 記号体系	28
附属書 JA (参考) 機械構造部品用焼結材料	31
附属書 JB (規定) 炭素含有量測定のための化学分析用試料の調製方法	32
附属書 JC (規定) 見掛硬さ試験方法	33
附属書 JD (参考) JIS と対応国際規格との対比表	35
解 説	41

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本粉末冶金工業会（JPMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 2550:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

焼結金属材料—仕様

Sintered metal materials—Specifications

序文

この規格は、2012年に第3版として発行されたISO 5755を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JDに示す。

1 適用範囲

この規格は、軸受及び機械部品に使用される焼結金属材料（以下、材料という。）の化学成分、機械的特性及び物理的特性について規定する。

注記1 材料を選択するに当たっては、材料特性は化学成分及び密度だけではなく、製造工程に依存することを考慮することが望ましい。特定の用途に適切な特性を提供する材料の特性は、代替として使用される鍛造材又は鋳造材の特性と必ずしも同じではない。したがって、材料の選定は、受渡当事者間の協定によって決定することが望ましい。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 5755:2012, Sintered metal materials—Specifications (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 1211-3 鉄及び鋼—炭素定量方法—第3部：燃焼—赤外線吸収法

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2242 金属材料のシャルピー衝撃試験方法

JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験—試験方法

JIS Z 2245 ロックウェル硬さ試験—試験方法

JIS Z 2500 粉末や（冶）金用語

JIS Z 2501 焼結金属材料—密度、含油率及び開放気孔率試験方法

JIS Z 2503 粉末や（冶）金用金属粉—試料採取方法

JIS Z 2507 焼結軸受—圧環強さ試験方法